

中原市長の施政方針に

会派代表者が問う！

◆市長の施政方針◆

【四つの重点テーマ】

- ▼命を守る
- ▼子ども笑顔を未来につなぐ
- ▼誰もが輝くまちをみんなで創る
- ▼価値を高め、次世代に継承する

「価値ある未来」を吉川市に創りだせるよう、令和4年度も「理念「計画」をしっかりと掲げ、「共働の場」を充実させる中で、吉川市に関わる全ての方々と共に「まちづくり」を全力で進めてゆくことをお誓い申し上げます。

市民の会・

無所属

伊藤 正勝



問 コロナ・オミクロン株の猛威。この厳しい局面を乗り越え次のステップに進む節目の年。まず1月以降の感染拡大の現状と取り組み。ワクチン接種や保育士等の処遇改善。新年度とコロナ関係の累計の予算総額。次いで防災減災対策。公園や公共施設の有効利用。高齢者のフレイル・認知症対策。デジタル化やSDGsについての認識と取り組み。小中学校のICT教育の課題。まちづくりについては東口開発や吉川駅北口改修。吉川橋流山橋の整備状況等について。施政方針や新年度予

算案に対応し30項目余を網羅的に質問。

答 コロナの第6波は吉川でも全国に比例して増加。円滑なワクチン接種で2回目の接種率は86%に。保育士等の処遇改善は国の施策に合わせて実施。新年度コロナ関係予算は2億9500万円。累計は総額117億円に。防災の備蓄は消毒液や簡易ベッド等を整備。公園は市民が快適に利用できるよう努めたい。DXは行政手続きのオンラインシステム構築。ICT教育は活用能力の向上を目指す。東口開発は当面商業ゾーンに注力。吉川駅はバリアフリーや歩行者通路等を整備。第6次総合振興計画に沿い誇れる未来を築きたい。

未来会議

よしかわ

稲葉 剛治



問 「価値ある未来を創る」という理念のもとに、これまで市政運営、施策を推進されてきているが、コロナ禍は行政運営にどのような影響を与えたか。また、この経験は行政

行うとともに、緊急事態宣言下への対応、特別定額給付金の支給事務、ワクチン接種事務など、職員と共に常に最善の策を検討し、チームワークとスピード感をもって実行してきた。

このような確かな状況判断と実行力が、国からの臨時交付金の活用事業の検討などにも活かされ、「生命を守る」、「生活を支える」、「地域

公明党

吉川市議団

小野 潔



問 ①第6波を乗り越えれば、新型コロナとの共存も含め克服への光が差します。そこで今一度市民へワクチン交互接種の有効性を含め、対策への協力を呼び掛けては。②吉

置するとしているが具体的には、また通学路への設置は。⑤高く評価する「文化芸術基本条例」の制定、条例に基づく文化団体・個人へコロナ支援策を。⑥下八間掘悪水路の改修整備事業に着手とあるが具体的には。

答 ①正しい情報提供で呼び掛けていく。②治水安全の向上が見込ま